

謹賀新年



市の将来を見据え
信頼に応える議会運営を

市議会議長
坂本 武人



「健康幸福都市こうし」
を目指して

市長
荒木 義行



「謹賀新年」市民の皆さまにおかれましては輝かしい新年を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年を上皇陛下のご退位に伴い30年間続いた「平成」という時代が幕を閉じ、5月1日新天皇陛下が即位あそばされ、ここに新たに「令和」という時代の幕が上がりました。改元以降、国民の慶祝ムードが続く中、秋には、即位礼正殿の儀が厳かに営まれ、祝賀御列の儀で即位パレードが盛大に行なわれた際には国民のそれも最高潮に達しました。

さらに県内でも熱戦が繰り広げられたラグビーワールドカップ・女子ハンドボール世界大会は、県民の多くに勇氣と感動を与え、新たなスポーツ文化の交流体験に沸いた1年でした。

一方、大型台風の接近・上陸に伴う記録的大雨による河川の氾濫や堤防決壊などが相次ぎ、全国各地に甚大な被害をもたらしました。物的被害は及ばないところがあるにせよ、人的被害の拡大要因として、避難行動の遅れが多く指摘されました。改めて熊本地震以降、市が進める地域での防災訓練などの取り組みに対して、議会としても引き続き積極的な支援の必要性を確認したところです。

市議会は予算案などの議決や行政の監視のみではなく、時代の流れに的確に適應できる審議能力や政策立案能力が求められています。昨年4月には、改選により19人の議員を選出していただきました。改選後さっそく、さらなる議案審議の効率化と議会の見える化を進めるため、議会のICT化に着手。今後さらに代表質問制の導入などによる議会改革を進めていきます。令和2年度は、市総合計画第2次基本構想の第2期基本計画のスタートの年でもあります。全国的にも数少ない分離新設校、合志楓の森小学校・中学校の建設、御代志土地区画整理などの重要事業をはじめ、人口増加を続ける市の将来を見据えながら都市計画、教育、福祉分野などの事業に取り組んでいます。

私たち議員一同も皆さまの付託と信頼に応えるべく、問題を先送りせず、答えを出すことから逃げない議会運営を目指すと同時に、将来世代へ責任ある判断と行動をお示しする所存です。

本年も市議会に対し、昨年同様温かいご指導とご協力をお願い申し上げますとともに、皆さまにとつて実り多き1年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のあいさつとします。

明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は令和という新たな時代の幕開けの年となり、本市においては、北熊本スマートインターチェンジの開通や合志楓の森小学校・中学校の着工、九州経済産業局との連携強化、東洋経済新報社の住みよさランキングで九州1位となった年でした。

このような中、本市では「健康都市こうし」を目標に掲げ、一貫して取り組んできました。それをさらに進め、健康と合わせて幸福を感じられる「健康幸福都市こうし」を目指し、選ばれる市、住み続けたいくなるまちとなるよう、さまざまな施策・事業を展開してまいります。

ことしは東京オリンピック開催の年であり、スポーツへの関心から健康志向の高まりを日に日に感じています。本市においても、市民の皆さまの健康づくり推進の一環として、元西合志庁舎を「ルロ合志」と改め、マンガミュージアムなど他の公共施設と連携した地域の拠点、健康をキーワードとした多世代交流の場として生まれ

変わります。

さらに、地域の潜在的な力を最大限に生かせるよう、御代志土地区画整理事業のほか、地域経済の活性化や災害対応力強化を目的とする中九州横断道路の早期の全線開通に向け継続して取り組んでいきます。

安心できる暮らしの実現のため、防災機能の強化にも引き続き取り組めます。今春に完成予定の黒石防災拠点センターをはじめとしたハード整備とともに、防災士育成や総合防災訓練など、ソフト面の施策も行なっていく予定です。互助・共助を支える地域の絆づくりや地区防災計画に基づく地域特性に合わせた訓練などへのご理解、ご協力をお願いします。

このような施策などを通して、ことしも市議会や市民の皆さまと共に、健康づくりや地域の絆づくり、地域経済活性化による健全な市政運営を行ないます。住みたい、住み続けたいと思える、安心と幸せを実感できるまちづくりができるよう精一杯まい進していきます。

新しい年が皆さんにとって健やかで実り多い年でありますよう心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつとします。